

## がん検診について

がん検診には疾患の早期発見ができるメリットだけではなく、デメリットもあります。検診を受けるときにはメリット・デメリットを知った上で受診することをお勧めします。

**メリット** 早期発見・早期治療につながり、がんによる死亡率が低下する。  
(継続的な受診が早期発見のカギになります)

**デメリット** かならずがんを見つけられるわけではない。(偽陰性)  
がんがなくても結果が「陽性」となる場合もある。(偽陽性)

# 令和4年度 山縣市各種がん検診のご案内

共通事項：受診日に山県市民である(住民票を有する)ことが必要です。

自覚症状がある場合は、健康保険証を使用し、すみやかに医療機関を受診してください。

検診種類	胃がん検診 ※死亡数3位(2020)			大腸がん検診 ※死亡数2位(2020)		結核・肺がん検診 (※喀痰検査については裏面注意事項を参照) ※死亡数1位(2020)	肝炎検診 (B型・C型肝炎)	乳がん検診 ※死亡数女性4位(2020)		子宮頸がん検診 ※り患率が近年増加傾向		骨粗鬆症検診
	レントゲン撮影 (バリウム)	内視鏡検査(カメラ)										
対象者	40歳～84歳までの人 (受診を特に推奨する人 50歳～69歳)	40歳～84歳までの人 (受診を特に推奨する人 50歳～69歳)		40歳～84歳までの人 (受診を特に推奨する人 40歳～69歳)		40歳以上の人 (受診を特に推奨する人 40歳～69歳)	39歳及び40～70歳の今まで市の肝炎検診を受診していない人	30歳～84歳までの人 (受診を特に推奨する人 40歳～69歳)		20歳～84歳までの人 (受診を特に推奨する人 20歳～69歳)		案内はがきが届いた40・45・50・55・60・65・70歳の女性
適正な受診間隔	1年に1回	2年に1回		1年に1回		1年に1回		2年に1回		2年に1回		
受診方法	集団検診	集団検診	医療機関検診	集団検診	医療機関検診	集団検診	集団検診	集団検診	医療機関検診	集団検診	医療機関検診	集団検診
予約の有無	要予約	要予約	要予約	要予約	—	要予約	要予約	要予約	要予約	要予約	予約が必要な場合が多い	要予約
個人負担金	1,000円	2,000円		500円		40～64歳 500円 65歳以上 無料	500円	1,500円		1,500円		500円
無料クーポン対象	50・54・58・62歳	★クーポンはがきを別送します		—		—	39・44・49・54 59・64・69歳 ★	40歳 ★		20歳 ★		—
受診期間	6月～10月	6月～10月	6月～令和5年1月	6月～10月	6月～令和5年1月	6月～10月	6月～10月	6月～10月	6月～令和5年1月	6月～10月	6月～12月	7月19日(火) 8月22日(月) 9月27日(火) 10月24日(月)
検診内容	検診車の中でバリウムを飲んで胃のレントゲンを撮る	鼻から胃カメラを入れて胃の状態をみる	口又は鼻から胃カメラを入れて胃の状態をみる	自宅で便を2日分採って提出し、便に血液が混じっていないか検査をする 容器は市より郵送 容器は医療機関へ取りに行く		検診車の中で胸部のレントゲンを撮る	血液を採り、肝炎ウイルスの感染の有無を調べる	乳房のレントゲン撮影・超音波検査を行う		内診と子宮頸部の細胞診(綿棒のようなものでこすって採取する)を行う		腕のレントゲンをとり骨密度を測定するDXA法(前腕)
持ち物	①受診票(名前シールを貼り、事前に問診を記入) ②個人負担金 ③健康管理手帳(集団検診の場合のみ)							①受診票(名前シールを貼り、事前に問診を記入) ②個人負担金 ③衣服を入れる袋	①受診票(名前シールを貼り、事前に問診を記入) ②個人負担金 ③健康管理手帳 ④スカートでお越しください	①受診票(名前シールを貼り、事前に問診を記入) ②個人負担金	①個人負担金 ②案内はがき ※受診票は当日会場で配布し記入	
注意事項	裏面の『各種がん検診の注意事項』をよくお読みください											腕まくりできる服装でお越しください
検診結果	郵送	郵送	手渡し又は郵送	郵送	手渡し又は郵送	郵送	郵送	郵送	郵送	郵送	手渡し又は郵送	手渡し
精密検査の方法	胃内視鏡検査により行う。			第一選択は全大腸内視鏡検査を行う。		CT検査や気管支鏡検査により行う。	血液検査や超音波検査(胸腹部)を行う。	マンモグラフィの追加撮影や超音波検査、穿刺吸引細胞診や針生検等を行う。		検査結果に基づいてコルポスコピー下の組織診や細胞診、HPV検査などを組み合わせたものを行う。		骨密度測定・X線検査(胸椎腰椎)血液・尿検査を行う。
<b>要精密検査となった場合は必ず精密検査を受けましょう。その結果は医療機関を通して市に報告されています。</b>												

★対象およびクーポンの年齢は令和4年4月1日現在の年齢です(肝炎検診については該当年齢であっても、すでに市で受診済みの人は対象外です)。

乳がん検診、子宮頸がん検診、肝炎検診のクーポン券は封筒に同封しています。

・自己負担金は、集団検診ならば各検診会場、医療機関検診ならば各医療機関にてお支払いください。

※死亡数 出典：国立がん研究センター がん統計より

《問い合わせ先》 山縣市役所 健康介護課 22-6838